

令和3年11月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和3年11月29日（月）
午後2時00分開会 午後2時41分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第24号
日程第7 協議及び報告事項 協議第4号
報告第30号から第31号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	吉田礼子
3番	三木尚美	4番	中上之仁
5番	大野裕己		

○説明のため出席した者（9名）

学校教育部長	松下修	学校教育部次長	外岡明文
教育総務課長	浅野晋司	学校教育課長	山本直也
教育支援課長	山口貴久	教育研修所長	小山恵介
学校給食課長	廣瀬敏彦	教育総務課担当課長	上野樹
幼児教育振興課長	松本大介		

○代表学校長（2名）

中学校校長会代表	大野正人
小学校校長会代表	木久整

○会議に関係した事務局員（3名）

教育総務課 鈴木さやか
松田成行
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 大 野 裕 己

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和3年11月第272回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

(令和3年10月27日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、5番 大野裕己 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和3年11月29日月曜日 午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

11月も終わろうとしており、2学期もあと1か月となりました。新型コロナウイルスの感染も、これまで何だったのかと思うほど落ち着きを見せており、三田では11月に

入って感染者も出ていない状況です。全国的にも新規感染者の少ない状況が続いていますが、小学校では修学旅行をこれから予定しているところもあり、何とかこのままの状態が続くことを願っています。ただ、先週末から南アフリカで新たなオミクロン変異株の報道がされています。まだまだ実態が不明な所がありますが、大きな脅威とならないことを祈るばかりです。

また、本格的な冬となると風邪やインフルエンザの流行が懸念されます。コロナ感染と紛らわしい状況となりますが、子どもたちの健康管理には十分留意していきたいと思っております。

それでは、前回10月27日以降の活動について報告します。

1) 養父市立関宮学園視察(10/28)

10月28日、養父市の義務教育学校関宮学園の視察に行ってきました。合併による養父市誕生にあわせて、旧関宮町内の小中学校が統合され、昨年、同一敷地内にあった関宮小学校と中学校が、義務教育学校関宮学園として再編されました。

単学級の小規模校ではありますが、6-3制の義務教育学校として中学校と小学校の教職員がそれぞれ相互に乗り入れた授業が行われています。中学校の教員が5・6年生の図工、3・4・5・6年生の音楽、6年生の英語、2・3年生の体育を、小学校の教諭が7・8・9年生の技術、7・8・9年生の家庭科を教えています。

小規模校であるがゆえに、それぞれ教師も持ち時間数が調整しやすいこと、また免許外の対応もできています。校舎は小中別棟になっていますが、週1回単学級の6年生は中学校の校舎で50分授業を受けています。2月に部活動紹介を行い、4月早々から本格的な活動が行われています。職員室は別々でしたが、開校後の昨年、小中の校舎の間に渡り廊下とともに増築され真ん中に1つの職員室が設置されています。それぞれの教職員の動きが見えるようになり、理解と連携が進んだといわれていました。小規模校の課題、適正規模といった課題は解決することはできませんが、授業の持ち方や子どもたちの学びや活動など、義務教育学校という組織体制を生かした様々な取組がなされており、小規模校の特徴を最大限活かした学校運営は大変参考となりました。

2) 近畿市町村教育委員会研修大会(11/1)

11月1日、各教育委員の皆さんにもご参加いただき、尼崎市のアルカイクホールで近畿市町村教育委員会研修大会に参加しました。研修会では「脳科学の知見を活かした教育」と題して、東北大学加齢医学研究所の川島先生による講演と、小野市の川島先生監修による脳科学と教育の取組について発表がありました。講演ではタブレット等ICTの学習への活用と効果について疑問も投げかけられていましたが、そのような要因もあるということを確認したうえで、子どもたちにとっての学びの環境として最適な状態が作れるよう考えていかなければならないと感じたところです。

3) 阪神7市1町教育委員会連合会研修(11/5)

11月5日、伊丹市が当番市として連合会の研修会を開催いただき、各教育委員の皆さんにも参加いただきました。研修は伊丹市のコミュニティ・スクールの取組、実践の報告でした。苦労も多々あったようですが、学校教育目標達成に向けて、目標を共有しながら地域と一体となって特色ある学校づくりを進められている状況がよくわかりました。学校と地域、お互いウィン・ウィンの関係を築くことが重要であり、負担感があってはならないと感じました。大事なのはコミュニティ・スクールという学校運営協議会組織があったとしても、実際に行動する地域学校協働活動などの活動組織との連携が重要であり、協議会自身は活動部隊ではないということ、この学校運営協議会が方針・方向を決め、コーディネートする人につなげ活動組織や住民が動く、学校も地域活動に参加する、そういった仕組みが大切であると実感しました。社会に開かれた教育課程の実現といった大きな目標に向けて、三田市においても見直しを図っていきたいと思っています。

4) 第9回三田市中学校英語暗唱大会(11/6)

11月6日、ウッディタウン市民センターで、第9回目となります中学校英語暗唱大会を開催しました。暗唱大会ということでコロナの影響も心配したところですが、会場も感染対策に万全を期し、昨年と同様に開催しました。本年は、中学1年生3名、2年生9名、3年生7名の19人が参加しました。毎年のことではありますが、皆さんレ

ベルは非常に高く感心したところです。およそ2分間、すべての生徒が、詰まることなく最後まで暗唱していました。各学年優秀者の表彰もさせていただきましたが、本当に甲乙つけがたい、審査員泣かせの大会であったと思います。1・2年生の生徒には、来年もぜひとも挑戦いただきたいと思います。

5) 兵庫県都市教育長協議会(11/10)

11月10日、洲本市で本年第2回の都市教育長協議会が開催されました。コロナの影響もあり2年ぶりの現地開催となりました。議題は3点、①スクールサポートスタッフの配置について、②放課後デイサービスにおける教育・家庭・福祉の連携について、③統合型校務支援システムの共同調達についてでした。

スクールサポートスタッフについては県の取組の動向を注視しながら、市単独でも配置するといった都市も多くあります。また、教育・家庭・福祉の連携ではトライアングルプロジェクトなど、連携の仕組みが取れているところよりも、その模索をしているところが多くありました。校務支援システムでは、ほとんどが自前でサーバーを立てて高額な経費で構築している、三田のようにクラウド型は少数です。提案では、奈良県や長崎県のように県下統一のシステムをクラウド型でできないかというものでしたが、各市単独で先行している中で、その検討まで議論はできませんでした。

各都市の取組も参考にしていきたいと思います。

6) 第2回総合教育会議(11/12)

11月12日、各教育委員の皆さんにもご協力いただきました。協議内容は、①令和4からの三田市教育大綱について、②幼稚園再編計画の見直し案についての2点でした。委員の皆さんにもそれぞれの立場からご意見をいただき、有意義な会であったと思います。

いただいたご意見を参考として、大綱案の検討やパブリックコメントに向けた幼稚園再編案の修正がされています。これら2つについては、決定に向けて来年2月を予定しています第3回総合教育会議で最終協議をいただきますのでよろしくお願い致します。

7) 三田市総合防災訓練(11/13)

11月13日土曜日、ゆりのき台小学校を会場として、本年度の三田市総合防災訓練が開催されました。今年はコロナ感染対策とともに、大規模校ということから子どもたちの参加はありませんでした。

午前10時の地震発生シェイクアウト訓練に始まり、避難訓練、初期消火訓練、避難所開設受付訓練や、校舎3階からの救出救助訓練などがおこなわれました。

今回はペット同伴での避難も想定され、地域の自主防災組織の皆さんも参加いただき、万が一の災害時の対応を確認いただけたと思います。

8) 12月三田市議会定例会(11/26)

11月26日、第364回定例会市議会が開会しました。今定例会では、教育委員会関係の補正予算や条例等の議案はありませんが、12月17日までの日程で、一般質問等を受けることとなります。

以上、この1か月の活動と取組でしたが、先週報道されましたように、愛知県弥富市で中学生による本当に悲しい事件が発生しました。ここに至った原因、背景など捜査が続いているところですが、学校で起こったという事実に違いはありません。日ごろの子どもたちの行動、様子、心の在りよう等すべてに目を配ることは難しいかもしれませんが、改めてこのことを冷静に受け止めて、考えていかなければならないと思っています。

私からは以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1) 県費負担教職員のサービスの監督その他人事の一般方針を定めることについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第6号関係】

議案第24号「令和4年度公立学校教職員異動方針について」事務局から説明をお願いいたします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

議案第24号「令和4年度公立学校教職員異動方針について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問、ご意見等ございますか。
なければ、このように承認いたします。

日程第7 協議及び報告事項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして協議及び報告事項に移ります。
協議第4号「三田市立幼稚園再編計画(案)に対する市民意見の募集について」事務局から説明をお願いします。

○幼児教育振興課長
(松本 大介)

協議第4号「三田市立幼稚園再編計画(案)に対する市民意見の募集について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございませんか。
なければこのように進めていきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、
報告第30号「学校園医の解嘱と委嘱に係る専決処分の報告について」事務局より説明をお願いします。

○学校教育課長
(山本 直也)

報告第30号「学校園医の解嘱と委嘱に係る専決処分の報告について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。
なければこのように報告させていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第31号「12月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課担当課長
(上野 樹)

報告第31号「12月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように報告させていただきます。

日程第8 その他の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、12月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課担当
課長(上野 樹)

12月教育委員会定例会の開催日時は令和3年12月24日(金)午後1時30分から、南分館601会議室で予定しております。
よろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
まず中学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(大野 正人)

○2学期学校行事について
10月末から11月初めにかけて、各校で文化祭が実施されました。今年の文化祭は各校でさまざまな形がとられました。感染症対策を十分に行い、文化祭の華ともいえる「合唱コンクール」を行った学校、「ボディパーカッション」という新しい表現スタイルに挑戦した学校、保護者の参観が実現した学校、ステージ発表の様子をYouTubeで保護者に限定発信した学校、それぞれの学校で、学校や地域の実態に即し、今考えうる最善の形で、令和3年度の文化祭を成功に導くことができました。11月はテスト月間です。前半には3年生が実力考査に、後半には全学年が期末考査に臨んでいます。生徒たちは、キャリア教育の成果により、今まで以上に目標を持ち日々の学習に、そして試験に取り組むことができるようになっており、そのことが学力向上に繋がっていると考えています。全国学力学習状況調査の結果の分析を各校で終えています。この分析を学力向上指導改善プランに活かし、PDCAサイクルに基づき更なる学力向上に努めてまいります。

○ICT導入状況について

GIGAスクールの取組が進んでいます。生徒用タブレットiPadが授業を始めあらゆる場面で活用されています。本校では、授業中や学習時間、そして休み時間も生徒たちはiPadを手に探究心を育んでいます。本校の文化祭では、生徒用タブレットで作成された映像が生徒会のパフォーマンスとして発表されました。このパフォーマンスは、企画、撮影、編集のすべてが生徒の力で行われました。子どもたちのパワーと無限の可能性に心震わされるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の意味について再考する絶好の機会となりました。三田市教育研修所のご尽力により、総合学習アプリ「ミライシード」の導入が試行段階に入っています。試行導入の研究成果をもとに本格導入が始まります。中学校では、生徒も教員もそして保護者の皆様も、総合学習アプリの導入を心待ちにしています。GIGAスクールの未来に夢が膨らみます。

○新型コロナウイルス感染対策について

新しい変異株が世界各地で確認されてはいるものの、我が国では全国的に「新型コロナウイルス」感染症については良い状況が続いています。それでも私たちは決して油断することなく、子どもたちの「命」と「心」を最優先し、安全・安心の中で教育活動ができるよう、「新型コロナウイルスを学校に持ち込まない、学校内に広げない」を基本とし、感染症対策に最善をつくすとともに、子どもたち一人一人の心のケアに全力を尽くしながら、日々の教育活動に全身全霊で努めてまいります。三田市教育委員会の皆様には、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願いいたします。

○小学校校長代表 (木久 整)

○2学期学校行事について

11月には多くの小学校で音楽会が行われ、無事終了しました。今年も合唱はできなかったのが主な演目は合奏でしたが、ボディパーカッションや手拍子などを使って発表を工夫した学校もありました。実施に当たっては、入れ替え制にするなど、学校規模に応じて、感染症対策をしっかりと行って実施しました。

修学旅行の方もこの11月に多くの学校が実施しました。ま

だ12月に実施する学校が何校かは残っています。行き先は例年と違って京都、奈良方面が多かったのですが、行き先が変わっても、子どもたちは生き生きと活動し、多くの学びを得て帰ってきました。今年も全校が無事終われそうでほっとしています。来年度は、各校とも行き先を広島に戻すようですが、新型コロナウイルス感染症の動向を見ながらの対応となります。次年度の6年生も必ず行かせたいと思っています。

この11月には、自然学校を行った学校も多くありました。小野小学校では志手原小学校、母子小学校と合同で10、11、12日に5日間の活動の残りの3日間を行いました。いずれの日も天気に恵まれ、最終日のキャンプファイヤーをフィナーレに、全ての活動を無事終了させることができました。宿泊ができなかったのは残念でしたが、充実した活動を行うことができました。

○新型コロナウイルス感染対策について

巷では、「オミクロン株」という言葉をよく耳にするようになりました。「日本でも警戒度最高」と新聞に出ていましたが、第6波では「オミクロン株」の脅威にさらされるのでしょうか。先行きは不透明ですが、現場では今できることを大切にしながら教育活動を進めていくしかありません。12月は2学期のしめくくりの月です。あとひと月、感染症対策をしっかりと行い、子どもたちの学びの保障に取り組んでいきたいと思っています。

○教育長 (鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。

それではその他配布資料またはご意見、ご質問等ございますか。

ないようでしたら11月教育委員会定例会を閉会いたします。